

令和7年度

養護老人ホーム朝海荘
事業報告書

養護人ホーム朝海荘 令和7年度 事業報告（案）

1. 総括

令和7年度は、ご利用者の笑顔を最も大切にし、一人ひとりの思いや希望に寄り添いながら、その人らしい生活を送ることができるよう支援に努めました。また、安全で安心できる生活環境の整備とサービスの向上に取り組みました。

① レクリエーション活動の充実

レクリエーション活動の充実を図り、体操や各種レクリエーションに参加していただくことで、**楽しみながら身体機能の維持・向上**を促しました。また、参加ごとにポイントをため、一定数に達すると希望する景品と交換できる仕組みを導入し、参加意欲の向上にもつながりました。レクリエーションは、身体を動かす効果だけでなく、達成感や喜びを得ることで精神的な安定にも寄与し、他者との交流を通じて社会性の維持にもつながりました。

② 畑活動による季節の楽しみと食体験

畑活動では、加齢や身体機能の変化により農作業への参加が難しいご利用者が増える中でも、苗づくりや芋の選別など、できる範囲の作業に参加していただきました。収穫した野菜は食事にも取り入れ、自分たちが育てた食材を味わうことで喜びや達成感を感じていただくことができました。畑活動は季節を感じる機会となり、**食への関心**を高め、日々の**生活の楽しみ**や**生きがいづくり**にもつながりました。

③ 「望みプラン」のさらなる充実

ご利用者**一人ひとりの思いや希望**を大切にし、誕生日を迎えるご利用者を対象に「望みプラン」を実施しました。「外食をしたい」「買い物に行きたい」「自宅を見に行きたい」など、それぞれの希望に応じた支援を行い、可能な範囲で実現に努めました。

④ 地域とのつながりと広報活動の強化

ホームページやインスタグラム、広報誌を活用し、施設での生活や行事の様子、日々の取り組みについて積極的に情報発信を行いました。また、**町の広報紙**へ**施設紹介**や**契約入所**に関する案内を掲載し、ご利用者やご家族、地域住民への**情報提供**に努めました。

さらに、ご利用者の体力面への配慮及び近年の猛暑を踏まえ、従来の夏祭りを**秋祭り**として開催しました。多くのご家族や地域の皆様にご来場いただき、施設への**理解促進**と**地域との交流を深める**機会となりました。

⑤ 食事環境の改善による満足度向上

食事面では、嗜好調査を通じてご利用者の意見を取り入れながら、季節感のある食材を活用し、栄養バランスと満足度の向上を図った献立づくりに努めました。特に行事食についてはご利用者からも好評をいただき、食事を通じて季節の移り変わりや楽しみを感じていただく機会となりました。

また、今年度初めて**ご家族を対象**とした**給食試食会**を開催し、施設で提供してい

る食事への理解を深めていただきました。参加されたご家族からは「今後も継続してほしい」といった意見や好意的な感想が多く寄せられ、施設への信頼向上やご家族との関係強化につながる機会となりました。

さらに、セントラルキッチン導入後も安全で安定した食事提供に努めるとともに、食事の質の維持・向上に取り組み、ご利用者が安心して食事を楽しめる環境づくりを進めました。

⑥ 施設整備及び業務効率化の推進

ご利用者へのサービス向上と職員の業務負担軽減を目的として、施設設備及びICT環境の整備を進めました。

食事提供においては、セントラルキッチンを導入し、安全で安定した食事提供体制の構築に取り組みました。

また、介護テクノロジーとして眠りSCAN及び眠りSCAN eyeを導入し、ご利用者の状態把握の充実と見守り体制の強化を図りました。

さらに、勤怠管理、給与計算及び人事管理システムとしてマネーフォワードを導入し、事務作業の効率化と業務の適正化を進めました。

加えて、補助金を活用し、4法人協働共同によるeラーニング研修システムを構築しました。職員が「いつでも・誰でも・どこでも」学習できる環境を整備することで、継続的な人材育成と知識・技術の向上を図りました。

2 利用者の状況等

(1) 入所・退所の状況(人)

(令和8年3月31日現在)

月	入所者数 (月初)	新規入所	退所者	退 所 理 由			
				死亡	身内 引取	長期 入院	他施設
4	49	0	0	0	0	0	0
5	50	2	2	2 (※1)	0	0	0
6	49	1	0	0	0	0	0
7	50	0	0	0	0	0	0
8	50	0	2	2 (※1)	0	0	0
9	50	2	2	2 (※2)	0	0	0
10	50	2	0	0	0	0	0
11	50	0	0	0	0	0	0
12	50	0	0	0	0	0	0
1	50	0	0	0	0	0	0
2	50	1	0	0	0	0	0
3	51	0	0	0	0	0	0
合計		8	6	6 (※4)	0	0	0

(死亡の※については看取り)

(2) 年齢構成

(令和8年3月31日現在)

年齢	60～ 69	70～ 79	80～ 89	90～ 94	95 ～ 99	100 ～ 101	合計	最高	最少	平均
男性	1	4	6	3	0	0	14人	94歳	69歳	82歳
女性	2	3	15	7	9	1	37人	101歳	67歳	88歳
合計	3	7	21	10	9	1	51人	101歳	66歳	86歳

(3) 要介護度一覧表 (平均介護度 1.6)

(令和8年3月31日現在)

介護	非該当	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	小計
男性	4	0	1	5	1	2	0	1	14
女性	12	1	1	10	2	1	8	2	37
合計	16 (+3)	1 (-1)	2 (-1)	15 (+2)	3 (-2)	3 (+1)	8 (+1)	3 (-1)	51

3 職員の状況及び勤務時間

(1) 職員配置及び採用退職状況

(朝海荘全体)

職 種 形態	施 設 長	事 務 員	ケ ア マ ネ 生 活 相 談 員	栄 養 士	看 護	介 護 職	介 護 補 助 他	調 理 員	管 理 宿 直	合 計
正 規	1	1	3	1	0	8	0	0	0	14
有 期	0	1	0	0	0	4	0	2	0	7
パ ー ト	0	0	0	0	1	3	3	3	0	10
継 続	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
技 能 実 習 生	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
派 遣 委 託	0	0	0	0	2	0	0	0	3	5
年 度 初 計	1	2	3	1	3	19	3	5	3	40
採 用 異 動	0	0	0	0	1	0	1	1	0	3

退職異動	0	0	0	1	1	1	0	3	2	8
年度末合計	1	2	3	0	3	18	4	3	1	35

(2) 勤務体制

職種	形態	勤務時間	休憩時間
一般職	日勤	8:30～17:30	1時間
看護師	日勤	8:00～17:30	1時間30分
支援員	日勤	8:00～17:30	1時間30分
	早出	6:00～15:00	1時間
	遅出	13:00～22:00	1時間
	夜勤	21:50～翌8:50	3時間
調理場	早出	6:00～16:00	2時間
	遅出	9:00～18:00	1時間
宿直	宿直	21:40～翌6:10	(手待ち7時間)

4 事業実施内容

(1) 生活支援

① 食事の支援状況

食事時間等は、各食事毎、次の時間に配膳をし、順次食事を行いました。

[朝食8:00 昼食12:00 夕食17:00]

食事介助が必要な利用者については、それぞれ30分前の早飯を実施し、隔月の誕生会や敬老会等に行事食を実施しました。また、「おやつの日」「喫茶の日」を設け、居室から出てゆとりある時間を過ごして頂きました。

<食事形態>

(令和8年3月31日現在)

主食	常食	軟飯	お粥			合計
	34人	8人	7人			49人
副食	常食	一口大食	きざみ食	超きざみ食	ミキサー食	合計
	35人	4人	7人	1人	2人	49人
特別食	低脂肪食	カリウム制限食	減塩食	アレルギー食		合計

	1人	0人	7人	3人		11人
--	----	----	----	----	--	-----

② 入浴支援

入浴回数は、原則として1人、週2回実施しています。自力歩行ができない利用者には入浴機械リフト利用し浴槽に入れるようにしました。（座位の確保が難しいご利用者用にスイング型シャワーチェア利用）又、体調不良等で入浴が困難な場合は清拭等、その他適宜対応にはシャワー浴を実施しました。

③ 排泄支援

おむつ交換は、定時交換及び随時の個別確認により実施し、利用者の状況に応じてトイレ誘導や清拭支援を行いました。

(2) 環境衛生管理

利用者一人ひとりが安全で快適に生活できるように、定期的な居室内の清掃をはじめ害虫駆除等、施設外の除草等の環境整備を図りました。

(3) 預かり金管理

自主管理が難しい利用者の預かり金は、「社会福祉法人清和会預かり金規定」に基づき適正に管理を行いました。

(4) 健康管理

利用者一人ひとりが心身ともに健康で、充実した生活を送れるように、各部署と連携し情報を共有するとともに、身体の変化又は異常が認められた時には嘱託医の診察や状況報告を行い適切な対応に努めました。特に感染症等対策については経験を踏まえたうえで、マスク着用、手指消毒・うがいを強化し、ご利用者・職員の日々の健康管理徹底に努めました。

①医療機関による診察

診療科	回数	参 考	病 院 名
健康診断	年2回	胸部X線撮影・血液、検尿検査他の実施	奈良尾医療センター
内 科	月2回 適 時	嘱託医により定期的な診察 利用者の状況に応じて受診・定期受診	朝海荘診療所 奈良尾医療センター 上五島病院
外科・整形	適 時	利用者の状況に応じて受診・定期受診	奈良尾医療センター 上五島病院
皮 膚 科 眼 科 精 神 科	適 時	利用者の状況に応じて受診・定期受診	上五島病院

歯 科	適 時	往診により対応、必要に応じて受診	奈良尾歯科診療所
-----	-----	------------------	----------

②健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数
インフルエンザ予防接種	令和7年10月27日・11月10日	利用者・職員
新型コロナワクチン接種	令和7年10月10日	利用者

③入院の状況

	氏 名	日 数		氏 名	日 数
1	A	8日	8	H	20日
2	B	155日	9	I	9日
3	C	2日	10	J	72日
4	D	26日	11	K	20日
5	E	54日	12	L	21日
6	F	32日	13	M	6日
7	G	31日	14	N	5日
合計人数		14人	昨年比	(-2人)	
延べ日数		461日	昨年比	(-115日)	

(5) ゆとりある多様な活動

季節行事や、お楽しみイベントを計画・実施しています。

月	日	行 事 名	参加	備 考
4	2	花見ドライブ	15名	鍋倉へ3グループにわかれ外出する
	3	花見	47名	雨天のため、施設内で実施。食堂内に桜の飾りを付け弁当を食べました
5	10	母の日	36名	珈琲や紅茶とケーキを提供。ソープフラワーをプレゼント写真撮影を行いました
6	14	父の日	9名	居酒屋を開店し、お酒（ノンアル）等を提供しカラオケを楽しんで頂きました
7	7	七夕会	36名	七夕の飾りつけとゲームを楽しみました
	17	朝海荘運動会	46名	チームに分かれ4つの競技で競いました
9	15	朝海荘敬老会	48名	会食をしない形式に変更し、ご家族との時間を楽しんで頂きました
11	6	秋祭り	47名	ご家族や地域の方を招いて、おやつを食べながら出し物を楽しみました

	8	ペタンク大会	6名	地域行事のスポーツ大会に参加させて頂きました
	17	音楽会	43名	上五島みんなで歌う会の方と一緒に歌を歌いました
	27	なぎさ会慰問	43名	歌や踊り、手品を披露して頂きました
1 2	25	クリスマス会	45名	クリスマスツリーを点灯し、ゲームを実施
	27	忘年会	40名	お菓子を食べながらビンゴ大会を実施
1	8	新年会	38名	新年を迎え、書初めを行いました
2	3	節分	38名	鬼に豆を投げるゲームとおやつを食べました
3	5	ひな祭り	38名	〇×クイズやひなまつりの歌を歌いました
	12	カラオケ大会	35名	地域の方をお招きしカラオケ大会を実施

※上記以外にもご家族から甘夏やつわの提供があり皮むき等を行いました。

(6) 利用者の要望把握

各調査・アンケートをマニュアルに従って実施し要望を把握し対応しています。

項目	回数	参 考
嗜好調査	2回	おやつ、デザート、飲み物等の好みや食事内容について
家族との話し合い	適宜	面会時に金銭管理や処遇内容状況説明を実施
ご意見箱	常設	投書なし

(7) 苦情対応体制

苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員を選任し、適切な苦情処理体制を整備しています。苦情の申し出は下記のとおりで、引き続き利用者の苦情相談の適切な対応に努めていきます。

(体制)

担 当	氏 名	役 職
苦情解決受付者	岩崎 なるみ	主任生活相談員
苦情解決責任者	大角 洋一	施設長
第三者委員	森藤 敏幸	元新上五島町社会福祉協議会会長
第三者委員	平田 晶一	地区区長

(苦情件数)

全体	利用者	家族
5件 (5件)	5件 (4件)	0件 (1件)

(苦情概要)

苦情者	対象	内 容	対 応
利用者	職 員	通院から戻られた際、職員の運転について「衝撃がある」との訴えあり。	苦情責任者へ報告後、車の運転について注意を呼び掛ける。
利用者	職 員	職員の言葉がきつかった	本人の訴えを傾聴。対象となる職員がわかりませんでした。職員にご利用者からの苦情を周知する。
利用者	職 員	特定の職員の態度で嫌な気持ちになるとの苦情あり。	本人の訴えを傾聴。接遇委員会にて勉強会を実施し強化月間を設け、施設全体で取り組みました。
利用者	利用者	冷蔵庫に入れていたものが無くなっている	おやつ制限がある方が空腹で盗まれている。職員の目が届く場所に冷蔵庫を移動しています。
利用者	職 員	担当が変わってから職員が「自分にだけ冷たい」「嫌がらせを受けている」との相談あり。	当該職員に対して聞き取り及び事実確認を実施しました。意図的な対応ではないことを確認しましたが、ご利用者との関わり方について再確認を行い、より丁寧なコミュニケーションに努めるよう指導しました。

5 防災安全体制

防災予防や災害発生時に利用者と職員が一体となって適切な行動が取れるよう、消防本部と連携を図りながら消火訓練、通報訓練及び避難訓練を実施しました。また、消防設備の保守点検を業者へ委託するとともに、点検時には設備管理上の留意事項について助言を受け、事故予防及び災害発生時の対応強化に努めました。

防災訓練については、夜間及び日中を想定した訓練を実施し、利用者の安全確保と職員の防災意識向上に努めました。今後も継続的な訓練を実施し、災害発生時に迅速かつ適切な対応が行える体制づくりに努めてまいります。

【訓練実施状況】

訓 練 名	実施日	内 容
消防訓練 (消防署立合含)	9月8日 11月24日 12月4日 3月26日	夜間想定1回、日中想定3回、火災が発生したと想定し、(火災の発見→初期消火活動→消防署への通報→利用者・職員への通報→避難誘導→安否確認)の一連の流れを訓練しました。(消火訓練も実施)

6 事故の状況

ご利用者の高齢化や身体機能の低下に伴い、事故発生のリスクは依然として高い状況にありますが、今年度の事故件数は82件となり、前年度の112件と比較して30件減少しました。

事故防止に向けて、職員による見守りや環境整備を継続するとともに、介護テクノロジーの活用や体操・レクリエーション活動の実施など、安全な生活環境の確保に努めました。

事故種別では、転倒事故が37件と最も多く発生していますが、皮膚剥離・裂傷・打撲は前年度37件から8件へ減少しました。一方で、転落事故及び離設については増加していることから、今後も事故要因の分析と再発防止策の検討を継続し、ご利用者が安全で安心して生活できる環境づくりに努めてまいります。

(1) 事故種別発生件数

事 故 種 別	令和5年度	令和6年度	令和7年度
転 倒	49	37	37
転 落	20	7	10
誤 薬	5	10	10
誤 嚥	3	0	0
離 設	1	2	3
利用者間のトラブル	2	0	0
皮膚剥離・裂傷・打撲	51	37	8
貼付薬剥がし	0	2	0
異 食	4	3	3
配膳ミス等	4	3	3
車両事故	2	1	1
そ の 他	4	10	7
合 計	145	112	82

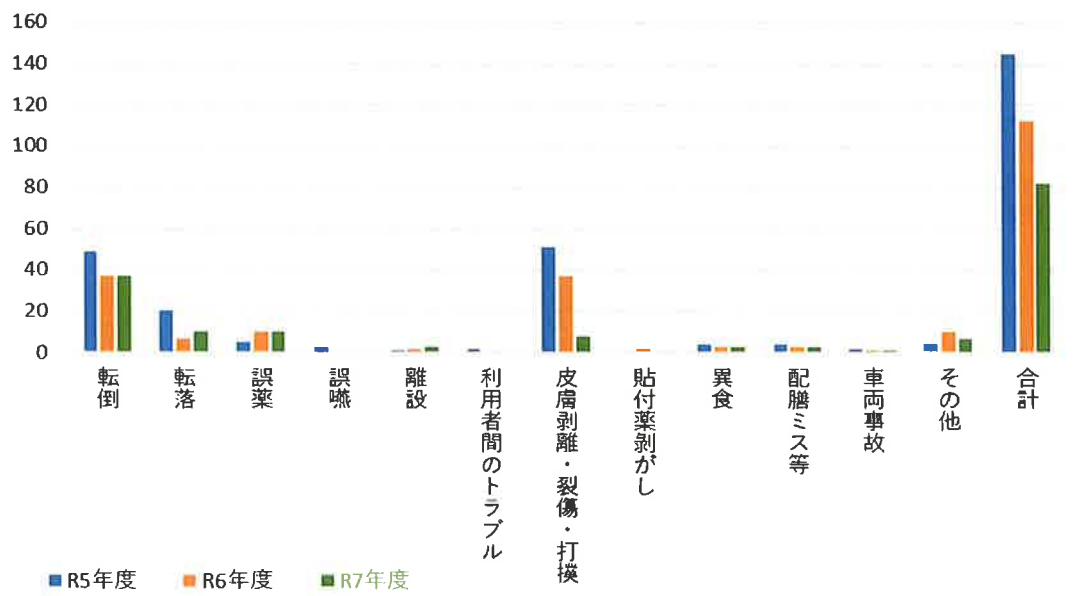
※その他の内容として「深爪」「カイロでの低温火傷」「殺虫剤を皮膚に使用」「うっ血」等がありました。

《ヒヤリハット件数》

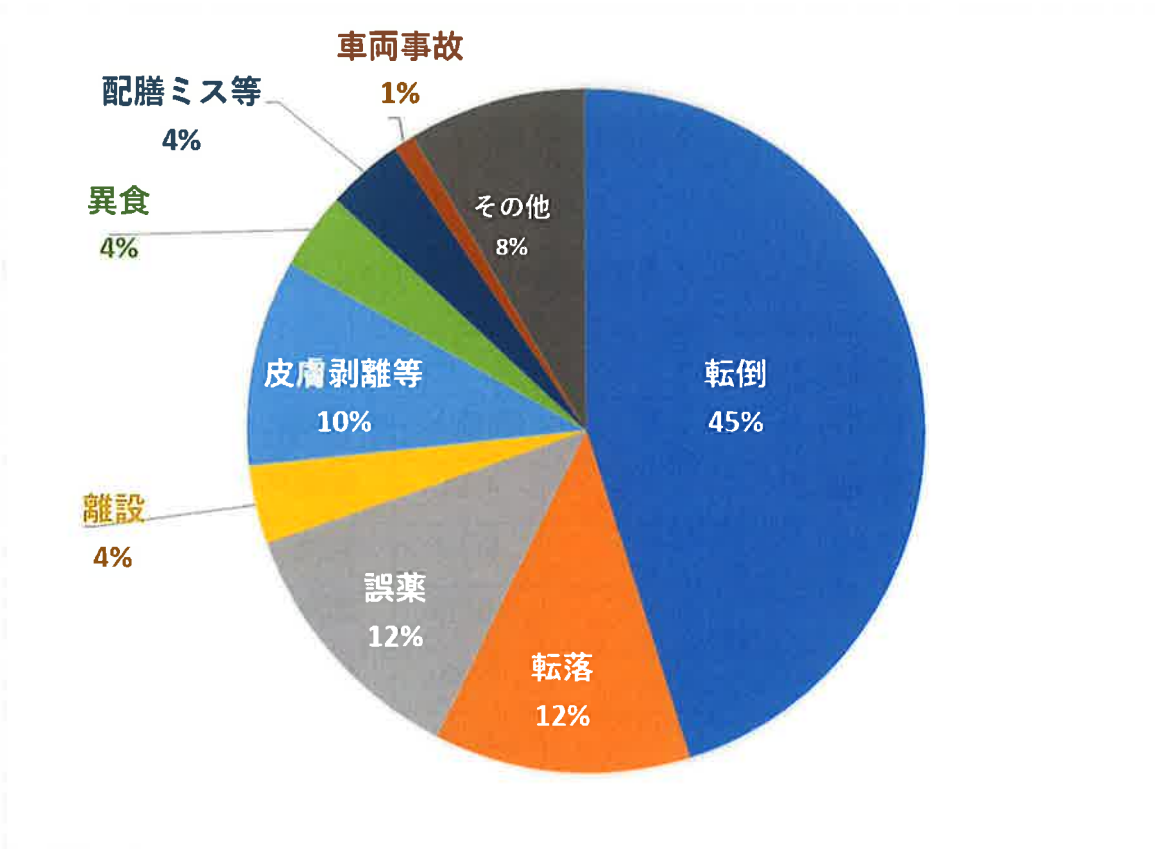
種類	転倒	転落	誤薬	負傷	離設	誤嚥	暴力	配膳ミス	その他
令和6年度	114	34	3	15	5	1	3	7	12
令和7年度	76	48	7	21	2	1	1	1	13

※その他の内容として「利用者同士で車椅子を押していた」「センサーマットのコード抜け」「食事の持ち帰り」等がありました。

(2) 事故種別昨年比グラフ



(3) 事故種別割合グラフ



7 会議・委員会

職員会議、支援会議及びケア会議を定期的を開催するとともに、安全対策委員会、

褥瘡委員会、身体拘束防止委員会、排泄委員会、感染対策委員会、ノーリフトケア委員会、口腔ケア委員会及び給食委員会等の各種委員会活動を実施しました。

各会議及び委員会では、利用者支援に関する課題の共有や事故防止対策、感染予防対策、身体拘束の適正化、口腔ケア及び栄養管理の充実等について協議を行いました。また、研修や勉強会を通じて職員の知識・技術の向上を図るとともに、サービスの質の向上と適切な施設運営に努めました。

会議名	回数	内 容
職 員 会 議	11 回	事業計画、基本理念について 虐待防止について
安全対策委員会	43 回	事故発生時の対応について ヒヤリハットによる事故予防
褥 瘡 委 員 会	4 回	体位変換の勉強会、予防対策 個別計画書の作成
身体拘束委員会	4 回	不適切ケアについての調査、改善
排 泄 委 員 会	4 回	個別による適切な排泄ケアについて
感 染 委 員 会	8 回	感染対策、衛生管理（手洗いの実技）他
ノーリフトケア	4 回	福祉用具の使用について他
口 腔 ケ ア 委 員 会	4 回	口腔ケアの実施方法や使用物品について
給 食 委 員 会	毎月	各行事についての反省・改善・計画等について 嗜好調査・業務内容（見直し）等について 巡回指導・日衛生管理等について

8 職員研修

ケア技術の向上と支援等に関する基礎知識の習得のため、職場内研修の実施や職場外研修（Web研修）に積極的に参加してもらいました。

① 職場内研修（特定施設含）

研修名	開催日	場所	参加者
BCP 訓練・安全対策勉強会	4/21	朝海荘	支援員 9 名
口腔ケア勉強会	5/19	朝海荘	看護・支援員 17 名
褥瘡・感染対策勉強会	10/19	朝海荘	支援員 12 名
身体拘束・虐待	7/28	朝海荘	支援員 11 名
BCP 訓練	10/20	朝海荘	看護、支援、事務員 12 人
安全対策、感染対策勉強会	11/24	朝海荘	看護、支援、事務員 14 人
身体拘束・虐待	12/16	朝海荘	全職種 33 名

②職場外研修等内容（特定施設含）

研修名	開催日	場所	参加者
長崎包括医研シンポジウム	4/26～27	長崎市	施設長
科学的介護フォーラム '25	6/18～19	長崎市	施設長・事務長・主任
五島老施協代表者会議	6/11	五島市	施設長
認知症介護基礎研修	7/19	web	支援員
長崎県職員研究発表会	11/12～13	長崎市	施設長・支援員
介護の魅力伝道師研修	11/18～19	長崎市	技能実習生
五島老人福祉施設協議会研修	11/21	島内	主任・介護員
介護生産性リーダー研修	11/25	Web	ケアマネ・主任
ACP 推進リーダー養成研修	11/27	島内	介護員
養護老人ホーム困難事例検討会	11/27	Web	養護：生活相談員
全国老人福祉施設協議会全国大会	12/3～6	山口市	施設長
長崎県老人福祉施設協議会研修	1/15	Web	事務長
認定調査員現認研修	2/19	Web	ケアマネ
ノーリフティングフォローアップ研修	2/16	島内	ケアマネ・主任・介護員
養護老人ホーム困難事例報告会	2/19	Web	養護：生活相談員
介護の魅力伝道師研修会・伝達式	3/10～11	長崎市	技能実習生

9 受入れ

事業名	日程	参加者
介甲斐留学ツアー（移住）関東他 10名	11/1～3	施設長・事務長・ケアマネ

- 10 県指導監査の実施状況について
 ○実施指導はありませんでした。

令和7年度

特定施設入居者生活介護事業所朝海荘
事業報告書(案)

特定施設入居者生活介護事業所朝海荘 令和7年度 事業報告（案）

1 総括

① ご利用者の重度化への対応及び入院予防への取り組み

近年、認知症やADL（日常生活動作）の低下により介助を必要とするご利用者が増加しており、一人ひとりの状態に応じた介護サービスの提供に努めました。

令和7年度は、入院者数の減少を目標として、ご利用者の健康管理の強化や状態変化の早期把握に努めました。その結果、施設全体の入院者数は減少しましたが、年間入院者14名のうち特定施設利用者が8名を占め、入院日数461日のうち300日が特定施設利用者となりました。

また、入院や疾病等により心身の状態に変化が見られた場合には、退院後速やかに要介護認定区分変更申請を行い、ご利用者の状態に応じた適切なサービス提供及び介護報酬算定に努めました。

さらに、ご利用者の重度化が進む中、看取り介護にも積極的に取り組みました。看取り介護においては、ご本人及びご家族の意向を尊重しながら、多職種が連携して苦痛の緩和や精神的ケアに努め、ご家族が安心して寄り添うことができる環境づくりを行いました。その結果、4名のご利用者が住み慣れた施設で穏やかな最期を迎えられるよう支援しました。

今後もお利用者一人ひとりの状態や希望に寄り添いながら、安心して生活できる環境づくりに努めてまいります。

② 技能実習生の育成と活躍

在籍する技能実習生2名は、日本語能力試験（JLPT）N2を取得しており、ご利用者や職員とのコミュニケーションも円滑に行われています。また、更なる日本語能力の向上を目指し、日本語能力試験（JLPT）N1取得に向けた学習に取り組んでいます。

介護技術についても着実に習得しており、日常の介護業務において重要な役割を担うなど、施設運営に大きく貢献しました。特定技能として継続勤務を予定している職員については、バイク運転免許を取得し、地域での生活基盤の充実にもつながっています。

さらに、「介護の魅力を伝える伝道師」研修を受講するとともに、若松中学校の人権集会へ招待され、自らの経験や思いを発表する機会をいただきました。これらの活動を通じて、介護の魅力発信や地域との交流にも積極的に取り組みました。

③ 外国人留学生への支援

将来の介護人材の確保・育成を目的として、外国人留学生への支援を継続して行いました。

留学生については、**出席状況及び学業成績ともに良好**であり、**順調に進級**することができました。また、学校での学習と介護現場での実践を両立しながら、日本語能力や介護知識の向上に努めています。介護現場での経験を積みながら、将来の介護人材として着実に成長しています。

今後も安心して学業に専念できる環境づくりを行うとともに、**地域福祉を支える人材として成長**できるよう**支援を継続**してまいります。

④ 施設整備について

施設整備については、養護老人ホーム朝海荘と連携しながら、介護テクノロジー及び ICT 環境の整備を進めました。**眠り SCAN 及び眠り SCAN eye の活用**による**見守り体制の充実**を図るとともに、**勤怠・給与・人事管理システムの導入**や**e ラーニング研修システムの構築**を進め、**業務の効率化と職員の資質向上**に努めました。

2 利用者への支援に関する取り組み

(1) 特定施設サービス計画の作成

計画作成担当者が、ご利用者又はご家族の希望、ご利用者について把握された解決すべき課題に基づき、他の特定施設従業者と協議の上、サービスの目標及びその達成時期、サービス内容ならびにサービスを提供する上での留意点等を盛り込んだ特定施設サービス計画を作成しました。

(2) 処遇（介護）

特定施設サービス計画に基づき、ご利用者の心身の状況を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事、その他の生活全般にわたる支援を適切に行いました。

(3) 相談及び援助

利用者一人ひとりが生きがいをもって生活ができるよう、常に利用者の心身の状況、その人の置かれている環境等の的確な把握に努め、利用者又はご家族に対し、その相談に適切に応じるとともに、ご利用者の社会生活に必要な支援を行いました。

3. 利用者の状況

介護度 月	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均 介護度	昨 年 介護度
4	1	0	11	4	2	7	5	2.6	3.0
5	1	0	11	4	2	7	5	2.6	2.9
6	1	0	12	4	2	7	4	2.5	2.9
7	1	0	12	3	3	7	4	2.5	2.9
8	1	0	11	4	3	7	4	2.5	2.9
9	1	0	10	3	3	8	4	2.7	2.7
10	1	0	12	3	2	8	3	2.4	2.6
11	1	0	12	3	2	8	3	2.4	2.6
12	1	0	12	3	2	8	3	2.4	2.6
1	1	0	12	3	3	8	3	2.5	2.5
2	1	0	12	3	3	8	3	2.5	2.5
3	1	0	12	3	3	8	3	2.5	2.6
計	12	0	139	40	30	91	44	2.5	2.7
	8	0	131	33	32	93	66		

(計の下段は昨年度)

4 職員の配置

(令和8年3月31日現在)

職種 形態	管理者	ケアマネ 生活相談員	看護師	介護員 (補助含)	合 計
正 規 職 員	1	2	0	7	10
有 期 職 員	0	0	0	3	3
パ ー ト	0	0	0	5	5
継 続 雇 用	0	0	0	2	2
技 能 実 習 生	0	0	0	2	2
派 遣	0	0	1.5	0	1.5
合 計	1	2	1.5	19	23.5

5 勤務体制

職 種	形 態	勤務時間	休憩時間
管理者 ケアマネ・相談員	日勤	8 : 3 0 ~ 1 7 : 3 0	1 時間
看護師	日勤	8 : 0 0 ~ 1 7 : 3 0	1 時間 3 0 分
介護員 (補助他)	日勤	8 : 0 0 ~ 1 7 : 3 0	1 時間 3 0 分
	早出	6 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0	1 時間
	遅出	1 3 : 0 0 ~ 2 2 : 0 0	1 時間
	夜勤	2 1 : 5 0 ~ 翌 8 : 5 0	3 時間

- 6 県指導監査の実施状況について
○実施指導はありませんでした。